

危険物取扱者 [乙種・性消(第4類危険物)・正誤(9)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第4類の危険物は、常温以下では炎や火花によっても引火しない。【 】
- (2) ガソリンの火災に、二酸化炭素消火器は効果がない。【 】
- (3) アセトアルデヒドを貯蔵する場合は、不活性ガスを封入する。【 】
- (4) 二硫化炭素の燃焼範囲はガソリンよりも狭い。【 】
- (5) トルエンは金属への腐食性を持たない。【 】
- (6) アセトンはアルコールに溶ける。【 】
- (7) ピリジンは水に溶けない。【 】
- (8) メタノールは燃焼しても炎の色が淡く、見えないことがある。【 】
- (9) エタノールは酒精とも呼ばれる。【 】
- (10) 軽油は水より軽く、水に不溶である。【 】
- (11) 酢酸はアルコールに溶けない。【 】
- (12) 重油は褐色または暗褐色の液体である。【 】
- (13) クレオソート油の引火点は70℃以上である。【 】
- (14) ニトロベンゼンは空気中で自然発火する。【 】
- (15) グリセリンは火薬の原料になる。【 】

危険物取扱者 [乙種・性消(第4類危険物)・正誤(9)]

<一問一答>

正しい文章には○を、誤っている文章には×を、それぞれ記号で答えよ。

- (1) 第4類の危険物は、常温以下では炎や火花によっても引火しない。
引火点が常温以下のものがある。特殊引火物など。 【×】
- (2) ガソリンの火災に、二酸化炭素消火器は効果がない。
二酸化炭素消火器は効果がある。 【×】
- (3) アセトアルデヒドを貯蔵する場合は、不活性ガスを封入する。
不活性ガスを封入する。 【○】
- (4) 二硫化炭素の燃焼範囲はガソリンよりも狭い。
二硫化炭素の方が燃焼範囲が広い。 【×】
- (5) トルエンは金属への腐食性を持たない。
金属への腐食性を持たない。 【○】
- (6) アセトンはアルコールに溶ける。
アルコールによく溶ける。 【○】
- (7) ピリジンは水に溶けない。
水に溶ける。 【×】
- (8) メタノールは燃焼しても炎の色が淡く、見えないことがある。
炎の色が淡く、見えにくい。 【○】
- (9) エタノールは酒精とも呼ばれる。
酒精とも呼ばれる。 【○】
- (10) 軽油は水より軽く、水に不溶である。
水より軽く、水に不溶である。 【○】
- (11) 酢酸はアルコールに溶けない。
アルコールに溶ける。 【×】
- (12) 重油は褐色または暗褐色の液体である。
褐色または暗褐色の液体である。 【○】
- (13) クレオソート油の引火点は70℃以上である。
引火点は75℃である。 【○】
- (14) ニトロベンゼンは空気中で自然発火する。
自然発火性はない。 【×】
- (15) グリセリンは火薬の原料になる。
火薬の原料になる。 【○】